

山口県生協連

ニュース vol.242

発行：山口県生活協同組合連合会
〒753-0083 山口市後河原 210
TEL:083-923-5614 FAX:083-928-5416
E-mail: yken.ccu@smile.ocn.ne.jp
<http://yamaguchi-kenren-coop.jp/>

2023年8月17日発行

山口県生協連 第74回通常総会を開催



6月27日(火) 14:00~15:00 山口県労福協会館にて、山口県生活協同組合連合会第74回通常総会を開催しました。コロナ禍で3年間は書面議決での開催としていましたが、今年はお来賓のご臨席と代議員の実出席による開催としました。

ご来賓：日本生協連中四国地連事務局長 傘木誠様、
山口県労働者福祉協議会会長 中繁尊範様、
山口県原爆被爆者支援センターゆだ苑理事長 八代拓様



出席は県連理事・監事13名、代議員40名(実出席19名、書面議決出席20名、委任状出席1名)でした。

主催者を代表して、当連合会の岡崎会長があいさつをおこない、続いてご来賓を代表して、傘木事務局長と中繁会長からご祝辞をいただきました。

岡崎会長は「コロナ禍で十分な活動ができなかったが、今年こそは、会員生協間、行政や支援する関係団体との連帯を深め、山口県の生協運動の発展



岡崎会長理事

につながる活動を強化していきたい、会員生協、関係各位の一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。」とあいさつをしました。

続いて傘木事務局長、中繁会長よりご祝辞をいただきました。

傘木事務局長は「生協への期待が高まる中、連帯の力で、各種の課題に立ち向かい誰一人取り残さない持続可能な社会の実現を目指してつながる未来を切り開いていきましょう」と挨拶され、中繁会長は「誰一人取り残さない社会をどう実現させていくのかが喫緊の課題。労福協では勤労者福祉の向上のために、連携して労働者のための政策提言や地域における社会貢献などの役割をしっかりと担っていききたい」と挨拶されました。



左から傘木事務局長、中繁会長、八代理事長

議長、書記の任命後、議長は資格審査をおこない、代議員定数 40 名、本人出席 19 名、書面議決出席 20 名、委任状出席 1 名の全員出席で総会が成立していることを報告しました。

第 1 号議案の 1「2022 年度活動報告・決算報告および剰余金処分案承認の件」、第 1 号議案の 2「監査報告」、第 2 号議案「2023 年度活動計画案および収支予算案承認の件」、第 3 号議案「定款一部改定の件」、第 4 号議案「役員報酬限度額承認の件」、について提案・審議を行いすべて賛成多数で採択されました。



議長解任のあいさつをもって総会は終了しました。

最後に、生協連副会長の辻野理事が「厳しいときだからこそ安心して暮らせる社会を目指している生協運動は大切である、連携して広げていきましょう」と締めくくりました。



議長の原田代議員



荒瀬専務理事



福田監事



辻野副会長

広島・長崎原爆の日にゆだ苑で犠牲者を追悼する原爆忌

広島・長崎に原爆が投下されてから 78 年となった、8 月 6 日、9 日、山口市の県原爆被爆者支援センターゆだ苑で、原爆忌が行われ、犠牲者を追悼しました。

ゆだ苑の八代理事長はあいさつの中で「78 年たっても残っている傷跡に心を寄せて欲しい」と述べられました。被爆者の代表が水を求めて亡くなった人のために水をささげ、参列者は献花台に花を手向けました。原爆が投下された時間に全員で黙とうをささげました。

県内で被爆者健康手帳を持つ人は 3 月時点で 1678 人、平均年齢は 86 歳となっているそうです。



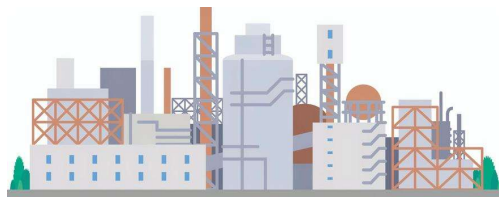
生協連理事会研修報告

山口県生協連では会員どうしの相互理解を図るため、年に1回会員視察研修をおこなっています。今年には東ソー生活協同組合で研修をしました。

日時：8月8日（火）13：30～14：30

内容：東ソー新南陽工場見学・店舗視察・事業計画などの説明

参加理事、監事、事務局 12名



東ソー新南陽工場は東京ドーム65個分に相当する日本最大級の事業所ということで、最初にマイクロバスに分乗して工場全体を見学し、その後事業所について職員の方から、特色や製造、製品の紹介説明をしていただきました。

その後、東ソー生活協同組合の店舗を見学しました。2023年1月に店舗の大改装をされ、生鮮食品と惣菜の充実を図り、品ぞろえとおいしさで魅力のある、買い回りしやすい店舗となりました。また近くにあったJA山口県農産物直売所も店内に移転され、地元の農産品も購入できるようになったため、好評だそうです。



ピースアクション実行委員会 山口県への平和要請

8月9日(水) 15:25~15:45、山口県庁にて、山口県ピースアクション実行委員会は核兵器と戦争のない未来を願って、山口県へ平和要請をおこないました。県から環境生活部部次長の瀬原正博様,他 21名、山口県ピースアクション実行委員会からは22名の参加でした。

はじめに岡崎実行委員会委員長より「被爆者の切なる願いである「核兵器廃絶」「世界恒久平和」の実現に向けて、子ども達が安心して暮らしていける世界を残すために、山口県ピースアクション実行委員会では、被団協・ゆだ苑を始めとした平和を願う皆様と一緒に、より多くの方が参加できる草の根の運動活動を広げる活動を続けています。本日は、お互いに長年培ってきた平和運動をより大切に育み、その大切さを確認し合える機会になればと思っています。」と挨拶をおこないました。

コープやまぐちの組合員親子が平和要請文を読み上げ、県環境生活部・瀬原部次長へ手渡しました。瀬原環境生活部部次長からは「まずは、平素より平和について考え活動しておられるピースアクション実行委員会の皆様へ、敬意を表したいと思います。世界共通の願いである“世界恒久平和”の実現に向けて、県でも平和教育・国際交流などの取り組みを一層進めていきたいと思っています。今年の夏も、猛暑や台風の影響などが懸念されますので、体調にご留意して活動をされて下さい。」との激励をいただきました。

最後にゆだ苑の八代理事長があいさつをおこないました。

山口県ピースアクション実行委員会は県内 19 市町に平和要請を行いました。

* 山口県ピースアクション実行委員会

構成団体 : 山口県生活協同組合連合会
生活協同組合コープやまぐち

協力団体 : 山口県原爆被害者団体協議会

: (一財) 山口県原爆被爆者支援センターゆだ苑



♪ 今後の行事予定 ♪

9月 6日(水) : 第47回山口原爆死没者追悼・平和式典

9月 14日(木) : 山口県生協連 2023年度第1回役職員研修会

(テーマ)「協同組合アイデンティティ(定義・価値・原則)と現代課題」

(講師)(一社)日本協同組合連携機構 常務理事 伊藤治郎 氏

10月 25日(水) : 上期監事監査

第2回生協連理事会